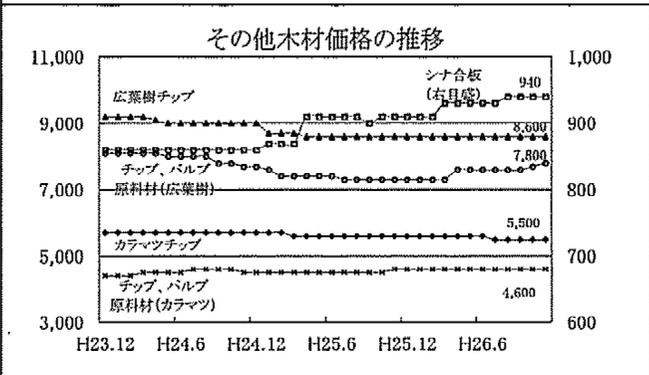
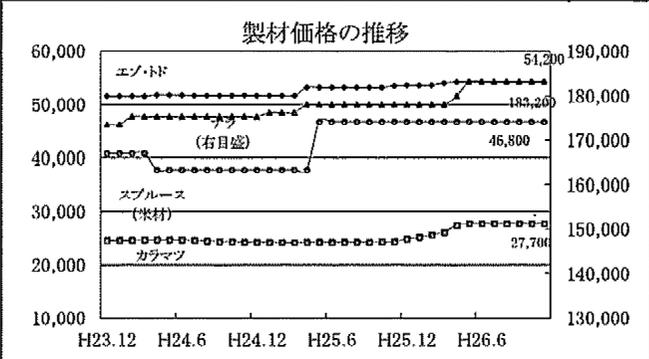
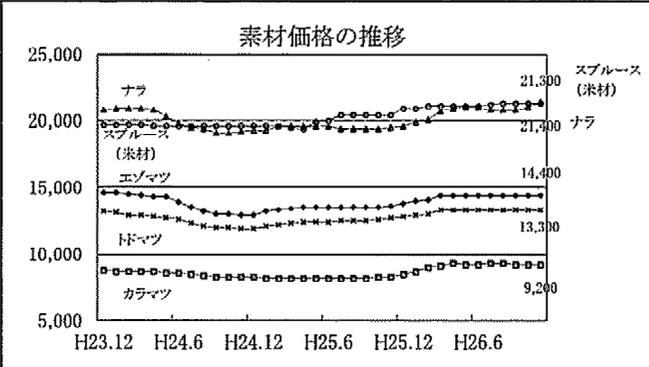


道内の木材市況概況(平成26年11月)

[主要品目の価格動向]

区分	樹種	形量・品等	仕切場所	全道価格	前月差	市況の動向
素材	エゾマツ	径30~38cm 長3.65m 品等3等	工場着	14,400	0	(道産材) ・エゾ・トド原木は、地域、工場によって在庫量に差がある状況変わらず。市況は保合。 ・カラマツ原木は、引き続き出材が順調で、全道的に在庫に不足感なし。市況は保合。 ・広葉樹原木は、新材の出材により価格が値上がり。市況は強含み。 (外国産材) ・米材丸太の10月の輸入量は0千m ³ (前月0千m ³ ・前年同月10千m ³)。10月末港頭在荷量は15千m ³ (前月比87%・前年同月比79%)。
	トドマツ	径30~38cm 長3.65m 品等3等	工場着	13,300	0	
	カラマツ	径14~18cm 長3.65m 品等込	工場着	9,200	0	
	ナラ	径30~38cm 長2.4m 上 品等3等	工場着	21,400	400	
	スプルース(米材)	径30cm上 長さ 品等込	港頭オントラ	21,300	0	
製材	エゾ・トド	厚10.5cm×幅10.5cm 長3.65m 甲II-2級	工場渡	54,200	0	(道産材) ・エゾ・トド製材は、全道的に荷動きが鈍化傾向。市況は保合。 ・カラマツ製材は、梱包材・パレット材の荷動きが依然として堅調で、受注残は約4週間。ラミナは、一部地域で価格が値下がり。市況は梱包材・パレットが保合。ラミナは全道的には弱保合。 (住宅着工戸数) ・10月の新設住宅着工戸数は前年同月比95%。 (外国産材) ・米材製材の10月の輸入量は1千m ³ で前月比47%、前年同月比49%。10月末港頭在荷量7千m ³ で前月比88%・前年同月比51%。
	カラマツ	梱包材:定尺	工場渡	27,700	0	
	ナラ	厚2.7cm×幅15cm上 長2.0m以上 板類1等	工場渡	183,200	0	
	スプルース(米材)	厚10.5cm×幅10.5cm 長3.65m 品等込	港頭オントラ	46,800	0	
合板	シナ	厚4mm 幅91cm×長182cm 2類-1等	間屋着	940	0	・市況は保合
チップ、パルプ原料材	カラマツ	形量・品等込	チップ工場着	4,600	0	・チップ・パルプ原料材は、カラマツが保合、広葉樹が強保合。 ・チップは保合。
	広葉樹	形量・品等込	チップ工場着	7,800	100	
チップ	カラマツ	山棒・剥皮	チップ工場サイロ下	5,500	0	
	広葉樹	山棒・剥皮	チップ工場サイロ下	8,600	0	



注1 前月差欄の△印は、値下がりを示す。
 注2 価格欄の「-」は、当該調査月に当該調査品目の取引がなかったことを示す。
 注3 外国産材の輸入動向数量関係は、北海道木材輸入懇話会資料による。